第 15 回世界湖沼会議

Organized by

ILEC

USMA2007

Università per Stranieri di Perugia

ACCADEMIA BELLE ARTI PERUGIA 1573

With the Patronage of:

Regione Umbria

Comune di Perugia

perugiassisi 2019

ARPA umbria

ARPALAZIO

ISPRA

Consiglio Nazionale delle Ricerche

CONSIGLIO NAZIONALE DEGLI INGEGNERI

Ordine dei Giornalisti Consiglio Regionale dell'Umbria

Under the Auspices of:

UNISCAPE EUROPEAN NETWORK OF UNIVERSITIES FOR THE IMPLEMENTATION OF THE EUROPEAN LANDSCAPE CONVENTION

第二回案内書

1　はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(2)
2　会議のテーマと目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(3)
3　メインプログラムとサイドイベント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(4)
4　各種分科会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)
5　テクニカルフィールドトリップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(6)
6　会議参加登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(7)
7　スポンサー、およびエキシビション出展お申込み・・・・・・・・・・・・・・・・(8)
8　宿泊先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(9)
9　ペルージャまでの陸路アクセス情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(9)
10　開催地：ペルージャとその周辺・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(10)
11　会議会場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(12)
12　任意投稿（エクステンデッド･アブストラクト）・・・・・・・・・・・・・・・(13)
13　口頭発表 準備要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(13)
14　ポスター発表 準備要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(14)
15　国際科学委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(15)
16　現地運営委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(15)
17　会議の最新情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(16)
18　お問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(16)

1　はじめに

第 15 回世界湖沼会議（WLC15）は、2014 年 9 月 1 日（月）~5 日（金）にイタリアのペルージャにて開催されます。主催はウンブリア科学ミーティング協会（USMA）、共催は公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC）です。WLC15 は、湖沼と貯水池の科学、管理、そしてガバナンスの重要課題における知識と経験を学際的に議論する国際会議です。この第二回案内書では、分科会、サイドイベント、会議会場、参加登録方法と費用、宿泊先など、本会議の最新情報を掲載しております。先進国および開発途上国で水と環境資源の管理に幅広く携わる国際/国家行政機関、NGO、学術機関、民間企業、市民団体やその他の湖沼利害関係者が一同に会する WLC15 で、皆さまにお会いできますことを主催者一同楽しみにしております。

2　会議のテーマと目的

天然であれ、人工であれ、湖沼は地球上のすべての生物にとって重要かつ戦略的な資源であるとともに、適切な持続的管理が実施されなければ人間活動の影響を極めて受けやすい存在でもあります。こうしたリスクを伴う天然資源とその生態系は、地理的な境界を定め、その所在する位置によっても大きな影響を受ける存在です。事実、湖沼の生態系とその周りの生態系の間には地理的な境目があるものの、湖沼は周辺の集水域から流れ込む水と共に入ってくる物質の影響を強く受けています。さらに、湖沼は自然と人間の活動によって生じるさまざま要因から影響を受けやすい非常に複雑なシステムです。たとえば、水に溶解した物質、地域の気象条件、大気との間のエネルギー交換、その地域の土質やそこに生息する多様な生物などが主な要因に挙げられます。これらと湖沼システムは互いに影響を受け、また与え合っています。こうした複雑な特性ゆえ、湖沼を単一の学問分野によって研究した場合、往々にして誤った結論や間違った結果を導いてしまうこともあります。

今回の世界湖沼会議においても、過去の会議と同様に、湖沼環境や湖沼の生物に関わる広範な分野から専門家が集まり、学際的な問題に対して学際的な解決策を導くための基盤を確立することが最も重要な目標となります。今回の会議のキーワードは「学際的」ということですが、複雑な湖沼問題に対応していくためには多様な取組や物の見方にも目を向けることも必要となります。事実、本会議においては、**統合的湖沼流域管理**（ILBM）というアプローチによって進められたガバナンスやその向上手法に関する最新の研究や科学的な応用事例が中心的なテーマのひとつになっています。

だからこそ、本会議は科学者だけではなく、資源管理者、政策担当者、そして政治家を含む湖沼流域利害関係者や水資源利用者からの多様な参加を想定しています。異なる立場の出席者が意見を交わせば、複雑な湖沼流域問題の分析と解決に向けたトップダウンのアプローチとボトムアップの考え方がやがて結び付き、より幅広く包括的な議論が生まれるはずです。また、本会議はきっと若い世代の研究者、管理者、そして湖の利用者にも大きな影響を与えることになるでしょう。子供から大学院生までの若い世代が会議への参加をきっかけに、世界の湖沼問題に目を向け、互いに連携して地域的な視点と国際的な視点から湖沼とその流域について考えるようになってくれることを願っています。

3　メインプログラムとサイドイベント

第 15 回世界湖沼会議の主なスケジュールは以下のとおりです：

	8 月 31 日（日）	9 月 1 日（月）	9 月 2 日（火）	9 月 3 日（水）	9 月 4 日（木）	9 月 5 日（金）
午前	出席者到着	開会式	分科会	テクニカル フィールドトリップ	分科会	分科会
午後	入場登録デスク オープン/ 歓迎レセプション	分科会	分科会		分科会	閉会式

※　入場登録デスク オープン期間：8 月 31 日（日）の午後～、会期中は毎日午前 8:30～午後 5:00

また、会期中は出席者とその同伴者を対象としたさまざまな特別イベントやアクティビティーもご用意しています。現在、予定されているサイドイベントは以下のとおりです。さらに詳しい最新情報は、随時、会議公式サイト（www.wlc15perugia.com/index.php/field-trips-and-events）をご確認ください。

	8 月 31 日（日）	9 月 1 日（月）	9 月 2 日（火）	9 月 3 日（水）	9 月 4 日（木）	9 月 5 日（金）
午前	出席者到着	開会式	国際政策フォーラム	テクニカル フィールドトリップ	LAKEDOC/ ABA 賞	
午後	入場登録デスク オープン/ 記者会見	地域政策 フォーラム: *トラジメノ湖と琵琶湖の経験交流*	科学 ジャーナリズム イベント		TWAP コンサルテーティヴ 公開フォーラム	閉会式
		ポスターセッション	ポスターセッション		ポスターセッション	
夕刻	歓迎レセプション		日本人交流会		バンケット	

【サイドイベント関連リンク】映像作品コンテスト LAKEDOC：wlc15perugia.com/index.php/lakedoc

4　各種分科会

現在予定されている分科会は以下のとおりです：

MS1　陸水の生態学と生物学

MS1-01　水質と汚染管理
MS1-02　湖沼生物学とバイオモニタリング
MS1-03　湖沼生態系・生物多様性のアセスメントと保全
MS1-04　汽水湖と陸水塩湖
MS1-05S　【特別分科会】増大する外来種の淡水生態系への脅威
MS1-06　植物プランクトン動態
MS1-07　富栄養化問題
MS1-08　有害藻類(HABs)

MS2　陸水プロセスとダイナミクス

MS2-01　化学的物理的プロセス
MS2-02S　【特別分科会】貯水システムにおける水文学的課題
MS2-03S　【特別分科会】沿岸潟湖とその流域における地球規模・地域規模の課題と対応

MS3　陸水システムと国際的変化

MS3-01　気候変動の動向と適応
MS3-02　気候による影響
MS3-03S　【特別分科会】気候変動：山岳地における湖沼と水資源

MS4　情報科学、マッピングとモニタリング

MS4-01 生態系モニタリングと測量技術の進歩
MS4-02S　【特別分科会】世界の大規模湖沼と貯水池の水文モニタリング
MS4-03S　【特別分科会】内陸および近沿岸水系の衛星観測
MS4-04S　【特別分科会】陸水学と水文学における GIS モデリングとマッピング

MS5　湖沼と人の関わり

MS5-01　社会的・文化的側面からみた湖沼と人の関わり
MS5-02　湖沼州域の「ハートウェア」
MS5-03　湖沼の景観と水辺建築
MS5-04　人的影響の管理
MS5-05　湖沼と考古学

MS6　湖沼流域管理における経験と課題

MS6-01　ヨーロッパの高山・亜高山湖沼
MS6-02　地域別にみた湖沼（南北アメリカ、アフリカ、ヨーロッパそしてアジア）
MS6-03　都市湖沼
MS6-04S　【特別分科会】トラジメノ湖

MS7　ガバナンスと管理：参加と課題

MS7-01　統合的湖沼流域管理（ILBM）
MS7-02　【ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ】湖沼の最良管理事例
MS7-03　良好な動水・静水・地下水システムのための水ガバナンスと連携
MS7-04　湖沼管理における市民参加
MS7-05　【ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ】研究、持続可能性とガバナンス：ILBM の実践方法

MS8　湖沼流域の最良管理事例

MS8-01　成功する湖沼管理を見据えた政策から行動への転換
MS8-02W　【ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ】ヨーロッパの湖沼水域における水フレームワークに沿った環境質アセスメント
MS8-03S　【特別分科会】汚染された流水・静水システムの水質回復と復元のための生態工学と生態水文学
MS8-04　【特別分科会】湖沼生息地の保全と持続可能な開発に向けた新たな取組の可能性

5　テクニカルフィールドトリップ

テクニカルフィールドトリップは 9 月 3 日（水）に開催されます。

各フィールドトリップの費用は一律€65 です。

参加希望者は、以下 3 つのオプションよりお好きな行先を 1 つお選びいただき、会議公式サイトの登録ページ、ショッピングカートにて申込み手続きをお済ませください。申込み登録に関する詳細は、本紙 6 ページをご覧ください。

各テクニカルフィールドトリップの概要はこちら：

オプション 1
トラジメノ湖

トラジメノ湖とその沿岸の街や村、周辺エリアの文化、歴史、自然を堪能いただくツアーです。

さらには、トラジメノ湖の過去、現在、そして未来の科学的問題を地域、国という範囲にとどまらず、国際的な視野で見ていただきます。

オプション 2
テヴェレ川保全地区

会議出席者だけでなく、同伴者の皆さまにもお楽しみいただけるツアーです。

ナッザーノ、テヴェレ - ファルファ保護地区内のテヴェレ川自然公園を訪れます。

オプション 3
マルモーレの滝

息を呑むようなマルモーレの滝の歴史と自然を発見する観光・テクニカルツアーです。

全長　165　メートルの壮大なマルモーレは、世界最長の人工滝であり、ヨーロッパ屈指の感動的で面白い自然スポットです。

※　会議公式サイト（www.wlc15perugia.com/index.php/field-trips-and-events）では、さらに詳しい情報を掲載しております。

6　会議参加登録

本会議と各種ツアーの事前参加加登録は、こちらの会議公式サイトより手続きをお済ませください：www.wlc15perugia.com/index.php/registration。

※　お支払い方法：１）銀行送金、２）クレジットカード決済、３）現金払い（現地払いのみ）

参加登録手続に関する日本語の詳細情報はこちら（公益財団法人国際湖沼環境委員会サイト）をご覧ください：www.ilec.or.jp/jp/wlc/new/?p=645

本会議と各種テクニカルフィールドトリップの参加費は以下のとおりです：

各種参加登録費　一覧

✧　先進国

早期割引　€350 … 2014年5月31日(土)まで

通常登録　€400

現地登録　€450

学生料金*　€150

✧　途上国**

一律（早期/通常問わず）　€200

現地登録　€230

学生料金*　€100

*　学生料金は、大学/大学院の正規履修プログラムの学生、かつ35歳以下の方に適応されます。
** 途上国の定義はOECDのレポートによります。

【各種会議参加登録費に含まれるもの】

- 第15回世界湖沼会議への入場料
- 会議パッケージ： 会議バッグ、アブストラクト集、論文集のCD-ROM、会議プログラム、ノートとペン、お土産、観光ガイドブック
- 会議会場での軽食、ウェルカム・レセプション参加費、バンケット参加費

✧　テクニカルフィールドトリップ　€65 (交通費と昼食代含む)

✧　同伴者会議参加料金***　€100

***上記料金にて、ウェルカム・レセプション、バンケット、ペルージャ市内のツアー（テクニカルフィールドトリップ除く）、文化的パフォーマンス、および1つの分科会に参加/入場いただけます。

7　スポンサー、およびエキシビション出展お申込み

国際的なフォーラムとして認知度の高い第 15 回世界湖沼会議は、スポンサーの企業・団体様が世界に向けて広報活動を行っていただける絶好の機会です。スポンサーの皆さまからのご協力により、会議の重要性が高まるだけでなく、会議参加者に対してより充実した会議プログラムを提供することが可能となります。スポンサーに興味をお持ちの各種団体、行政機関、企業、NGO におかれては、この機会にぜひ主催者のウンブリア科学ミーティング協会（USMA）と公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC）にご協力いただければ幸いです。ご支援いただきました団体様などのお名前は、会議スポンサーリストにて公表させていただきます。また、民間、行政、NGO、研究、その他エンジニア・科学分野で活躍される団体様は、本会議でのエキシビション出展もぜひご検討ください。展示会場は、分科会やその他の主要イベントが開催される会場の近くを予定しており、世界各国から多数の会議出席者が行き交う場所にて、貴社、貴団体の商品や活動紹介をいただけます。さらに詳しいスポンサーのレベルやエキシビション出展情報は、会議公式サイトにてご確認ください。スポンサー、および出展者様のお名前は、会期中に配布される宣伝グッズや予定されているイベントなどで広く紹介させていただきます。

エキシビション：　WLC15 エキシビションは、会期中毎日午前 9:00～午後 6:00 に開催されます。

ブースの配置： ブースの基本料金には、机 1 脚、椅子 3 脚、ゴミ箱 1 個、電源タップ 1 本、頭上バナー（社名などを加工可）1 枚、出展者用会議登録費 2 名様分、Wi-Fi インターネットへのアクセスが含まれます。出展者としてご登録の方は、歓迎レセプションへの出席、コーヒーブレークの利用、分科会への出席のほか、会期中（1 ブースにつき 1 件の）分科会での口頭発表またはポスター発表を行うことが可能（アブストラクトと論文の提出が必要）です。また、同料金にはブース設置日の清掃と廃棄作業が含まれます（会期中の利用は別途申し込みが必要）。

ブースの設置と解体： ブースの設置と解体日については、後日お知らせいたします。

輸送： 展示物品の輸送をご希望の場合は、USMA が提供する規定に沿って手続きを行ってください。輸送物品はご予約のブースまでお届けいたします。輸送期日については後日お知らせいたします。

セキュリティー： 展示時間外は、USMA による会場セキュリティーが手配されますが、いかなる場合も貴重品の放置は行わないでください。

ご予約： 申込書（www.wlc15perugia.com/images/documents/Exhibitor%20Form.pdf）をご記入の上、運営事務局（secretary@wlc15perugia.com）まで電子メールにてお送りください。

※　ブースの予約確定は先着順とさせていただきます。申し込みがブースの予定台数に達した時点で、受付終了とさせていただきますので予めご了承ください。

8　宿泊先

ウンブリア州の観光情報を斡旋する Umbria SI 協会が、参加者の要望に広くお応えする宿泊先を紹介しております。詳しくは、同協会の公式サイト（ www.umbriasi.it ）をご覧ください。

9　ペルージャまでの陸路アクセス情報

✧　**バス（ローマ・フィウミチーノ空港より）：**

日本からのフライトが発着するローマ・フィウミチーノ（レオナルド・ダ・ヴィンチ国際）空港からの移動には、ペルージャ市内中心部まで直通の Sulga 社（ www.sulga.it ）路線バスが便利です。バス停は、フィウミチーノ空港の主要国際線到着ターミナル（第 3 ターミナル）にあります。当該ターミナル到着後、「Bus Station」の表示に従いゲートの外をターミナルの終点までまっすぐお進みください。ペルージャ行 Sulga 社のバスは 35、または 36 番のバス停より発車します。

◆　時刻表：空港には時刻表がございません。必ず事前に最新の時刻表を会議公式サイト（ www.wlc15perugia.com/index.php/general-infos/reaching-perugia ）にてご確認ください。

◆　運賃（フィウミチーノ空港 ⇔ ペルージャ）：　片道€22、往復€36（1 カ月以内有効）

切符は乗車後、現金のみで支払い可能です。

※　公益財団法人国際湖沼環境委員会の WLC15 現地情報ページでは、フィウミチーノ空港からペルージャ市内までのアクセス情報を、地図、写真付きで詳しくご紹介しております：

www.ilec.or.jp/jp/wp/wp-content/uploads/2013/12/eee2ea18e6541df85da01596353cc76f1.pdf

✧　**WLC15 特別ノンストップバス（要予約）：**

8 月 31 日（日）のみ、午後 8:00 にフィウミチーノ空港を 発車するペルージャ行の特別ノンストップバスを運行予定です。料金（往路片道のみ）は€35 です。

利用希望者は、**7 月 15 日（火）までに**、現地運営事務（ secretary@wlc15perugia.com ）まで、お名前、連絡先 E-メールアドレス、到着フライト、利用人数を英語でご連絡ください。

※　予約が一定数に達しない場合は運行中止となる場合もございます。予めご了承ください。

✧　**電車：**

イタリア各地の主要駅より国鉄が利用可能です。詳しい乗り換え検索は、国鉄の公式サイト（ www.trenitalia.com ）をご利用ください.

※　ペルージャのバス停と国鉄駅はいずれも市内中心部にありますが、お荷物の多い場合などは宿泊先、会議会場などへの移動にタクシーの利用をお勧めします。

10 開催地：ペルージャとその周辺

ペルージャは、イタリア半島のほぼ真ん中にあります。ウンブリア地方の州都、そしてペルージャ県の県都であり、160万人以上の人が暮らしています。**その起源は古代エトルリア時代**にまでさかのぼり、この土地の恵まれた水資源に目を付けたエトルリア人が住みついたことが始まりといわれています。街は海抜490メートルにあり、隣り合う2つの丘（Collina del Sole と Collina Landone）の上にはエトルリア人が建てた城砦があります。

最も古い街の中心部には、紀元前3世紀に造られた城壁が周囲に巡らされています。この城壁は、のちの14世紀に、5つの村（地区）を囲む**中世の要塞**に統合されました。これらの村は、5つの大きな丘の尾根に沿って広がり、それぞれの方角には5つのエトルリア時代の城門(Roman Porta Sole、Porta Sant'Angelo、Porta Santa Susanna、Eburnea Porta、Porta San Pietro)がありました。これらの城門に対応して発展した街は星のような形になり、ルネッサンス時代の建築家レオン・バッティスタ・アルベルティはこうした街の形状を5本の手の指になぞらえています。

こうしたペルージャの輝かしい歴史は、国内の代表的な都市に保存されている芸術作品にも刻み込まれています。また、街に数多く残る遺跡にも、繁栄を遂げた都市の面影を見ることができますが、中でも特に必見なのは**フォンターナ・マッジョーレ**という噴水で、街の中心部に水を引いていた水道橋（現在は遊歩道としてアクセス可能）の完成後に、13世紀に造られました。噴水のある**11月4日広場**には、15世紀に竣工した**サンロレンツォ教会**があります。その隣には14～16世紀にかけて建てられた**デイ・プリオーリ宮**があり、現在はペルージャの公会堂となっています。また、このデイ・プリオーリ宮の中にはウンブリア地方の文化的民族人類学的遺産を所蔵する**ウンブリア国立ギャラリー**があります。ピントゥリッキオ、ペルジーノ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ジェンティーレ・ダ・ファブリアーノの作品をはじめとする13～19世紀の芸術を見ることができる、同地方でも大変重要な美術館です。

街中の建築物でも特筆すべきは、1540年にローマ教皇パウルス3世によって築かれた**パオリーナ要塞**です。当時ペルージャは、教皇国による海塩の輸入課税に反対して戦った「塩戦争」の終盤を迎えていました。この史跡の中で唯一現存するものが、16世紀の偉大な軍事技術者アントニオ・ダ・サンガッロ・イル・ジョヴァネによって設計された地下要塞です。現在は通り抜けができるこの街のシンボル的ランドマークの内部には、麓のバスターミナルと丘の上の市街地をつなぐエスカレーターもあります。

ペルージャ大学は、1308年に創立されたイタリア最古の大学のひとつで、ローマ教皇クレメンス5世によりストゥディウム・ゲネラーレ（中世大学の古称であり、神聖ローマ帝国が集めた優秀な学者による組織）として認定されました。また、1925年創立の**ペルージャ外国人大学**は、外国人を対象にした国内の大学では最も古く、その教育課程はイタリアの言語と文化を世界に広めることに特化しています。

こうした大変興味を引く物語、豊かな歴史、芸術そして科学環境の中で多くの文化活動が行われているペルージャは、イタリアでも有数の活気ある魅力的な都市といえます。海外にも広く名の知れた地元の催しは多岐にわたり、国際音楽祭（**ウンブリアジャズ**）、経済的な取組や工芸のプロモーション（**ウンブリアブックス**）、地産菓子（**ユーロチョコレート**）、メディアと情報分野の大規模会議（**国際ジャーナリズムフェスティバル**）、建築関係のイベント（**建築フェスト**）、そして科学イベント（ペ**ルージャ科学フェスト**）などがあります。

また、別名「イタリアの緑のハート」としても知られているウンブリアには、ペルージャの他にも興味深い周辺の街や村があります。そのうちの2つをこちらでご紹介します。

アッシジ：　アッシジはスバシオ山の西側にたたずむウンブリア地方ペルージャ県の街で、1208 年にフランシスコ修道会をこの街に築いた聖フランシスの出生地です。同じくこの地で生まれた聖クレア（Chiara d'Offreducci）は、Poor Sisters（彼女の死後に Order of Poor Clares となった）を創設しました。19 世紀には、聖母マリアガブリエルもアッシジで生まれました。2000 年には、アッシジ・フランチェスコ聖堂と関連修道施設群がユネスコの世界遺産に登録されました。

グッビオ： グッビオは、ペルージャ県北東部の奥深くに位置する街です。グッビオには何と言っても中世風の歴史的雰囲気があります。濃い灰色の岩、狭い路地、ゴシック様式建築でできたこの街には厳格な雰囲気が漂っています。街の中心部には、かつて裕福な商人が住んでいた 14、15 世紀の屋敷がまだ多く残っています。

ウンブリアのさらに詳しい情報は、こちらのウェブサイトをご覧ください：

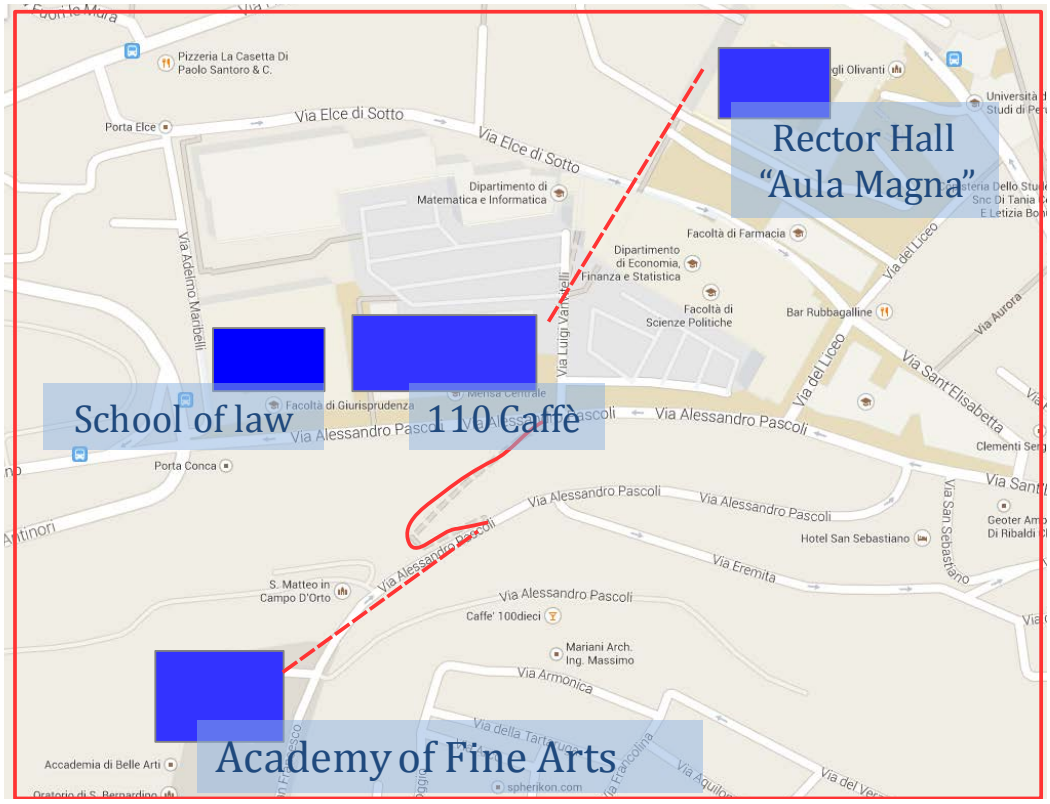
www.italia.it/en/discover-italy/umbria.html

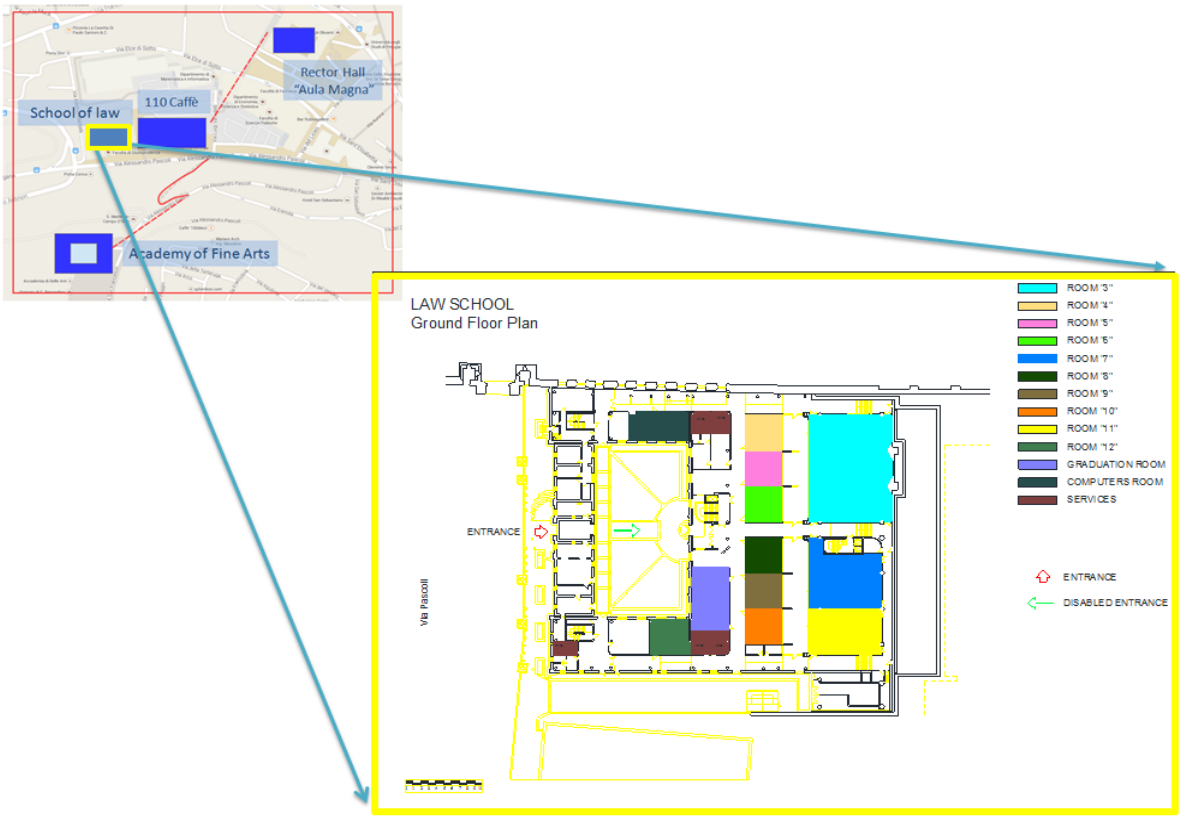
www.lonelyplanet.com/italy/umbria

www.umbriatourism.com/

11 会議会場

第 15 回世界湖沼会議の各種プログラムは、ペルージャ大学メインキャンパスで開催されます：





12 任意投稿（エクステンデッド・アブストラクト）

公益財団法人国際湖沼環境委員会が Wiley 社より発行する国際的な科学ジャーナル「*Lakes & Reservoirs: Research and Management*」（www.ilec.or.jp/jp/pubs/p3/lakes-and-reservoirs）への論文掲載希望者（すでに一般受付アブストラクトを投稿済みの著者）は、その選考資料としてエクステンデッド・アブストラクトを提出してください（**2014 年 6 月 30 日必着**）。受領されたエクステンデッド・アブストラクトは、会議終了後、第 15 回世界湖沼会議科学委員会による査読を経て電子論文集に掲載されます。

※　エクステンデッド・アブストラクトは「*Lakes & Reservoirs: Research and Management*」掲載論文の選考資料として提出を義務付けているものですが、本誌への掲載を希望でない方も、ご自由に投稿いただけます。

投稿希望者は、こちら（wlc15perugia.com/index.php/extended-abstract）に掲載の様式に従って、Microsoft Word ファイルにて作成したエクステンデッド・アブストラクトを extendedabstract@wlc15perugia.com まで E-メールにてお送りください。

13 口頭発表 準備要項

各種分科会の口頭発表者は、こちらの要項に従ってプレゼンテーションをご準備ください：

- 口頭発表の持ち時間は一人当たり 20 分（発表 15 分+質疑応答 5 分）
- 発表スライドは、Microsoft PowerPoint (PPT) またはそれに準ずるソフトで作成
- Macintosh で作成のスライドは、Microsoft　PC 上での互換性を予め確認すること

※　発表スライドデータの提出方法と期限は、本会議の最終案内書にて発表予定です。

14 ポスター発表 準備要項

ポスターセッションの発表者は、こちらの要項に従ってポスターをご準備ください：

- ポスターサイズ：　A1（縦594mm ×横 841mm、または縦 23.39 in ×横 33.11 in）
- 全体的に、**図・写真** を中心にすること
- ポスターの最上部にタイトル（投稿済みのアブストラクトに記載のタイトルと一致していること）、その下に著者名と連絡先（E-メールアドレスなど）をはっきりと読みやすい大きさで記入する
- ポスターは、投稿済みのアブストラクトと同一の論旨で作成し、全体的に明瞭かつそれだけで十分に著者の意図が伝わるだけの説得力があるようにすること
- 1, 2, 3,または A, B, Cなど、適宜、箇条書きで表記し第三者が見てその内容が簡潔にわかる工夫をすること
- 研究の背景、それに伴う結果と結論を明記すること
- 見る者の興味を引く情報を、ポスター全体で伝えるように工夫すること
- 図表、グラフなどは予め正確で読みやすいもの（文字などは1.5m先から読める大きさで）を用意すること
- 推奨フォントサイズ：　最小 で高さ**2.5 cm/ 18 pts** (例:　タイトル**60 pts**、その他 **30 pts**）
- テキスト、図表、グラフなどは適宜フォントサイズ、スタイル、配色に変化をつけデザインを工夫すること（ダブルスペース推奨）
- 極力、図表や写真などを使用し、全体的に文字の羅列が目立つような構図は避けること
- 写真の解像度は 300dpi以上とすること

付記： ポスター作成者は、写真、図などを含む素材の使用において、著作権の承諾などを要する場合は、自らの責任でそれを明らかにし、当該素材のクレジットを記載すること

15 国際科学委員会

委員長：
中村 正久（滋賀大学）

副委員長：
Walter RAST（テキサス州立大学）

委員：
Nicolai ALADIN（ロシア科学アカデミー）
Sandra AZEVEDO
（リオデジャネイロ連邦大学）
Riccardo DE BERNARDI（EvK2-CNR）
Salif DIOP
（シェイク・アンタ・ディオップ大学）
Fausto GUZZETTI（ペルージャ IRPI-CNR）
胡 征宇（中国科学院）
Piero GUILIZZONI（ISE-CNR）
Luigi NASELLI-FLORES（パレルモ大学）
Daniel OLAGO（ナイロビ大学）
Ajit PATTNAIK（チリカ開発公社）
Richard ROBARTS（世界水気候財団）
Adelina SANTOS-BORJA
（ラグナ湖開発公社）
Juan SKINNER
（アティトラン湖流域管理公社）
渡邉 紹裕（京都大学）

16 現地運営委員会

委員長:
Lucio UBERTINI（ローマ大学 “La Sapienza”）

副委員長:
Piergiorgio MANCIOLA（ペルージャ大学）

事務局長:
Arnaldo PIERLEONI （ペルージャ T4E）
萩原 康江（公益財団法人国際湖沼環境委員会）

事務局:
事務アシスタント兼コーディネーター：
Valentina ABETE
（secretary@wlc15perugia.com）
Dordaneh AMIN
Antonio ANNIS
Adriano ROSSI

委員:
Chiara BISCARINI（ペルージャ外国人大学）
Fernando NARDI（ペルージャ外国人大学）
Stefano CASADEI（ペルージャ大学）
Alessandro LUDOVISI（ペルージャ大学）
Salvatore GRIMALDI（トゥーシア大学）
Luigi NASELLI-FLORES（パレルモ大学）
Gianluca PAGGI（ペルージャ県）

メディア担当:
Antonello LAMANNA
(ペルージャ外国人大学 Voxteca)

17 会議の最新情報

WLC15 に関する最新情報は、常時会議公式サイト（ www.wlc15perugia.it ）にてご確認ください。

※　公益財団法人国際湖沼環境委員会の WLC15 サイト（www.ilec.or.jp/jp/wlc/new/?p=645 ）でも日本語による補足情報も随時公開いたしますが、よりタイムリーな情報は上記公式サイト（英語）をご覧ください。

18 お問い合わせ

* 会議に関するお問い合わせはこちらまで：

Arnaldo Pierleoni 、 Valentina Abete
ウンブリア科学ミーティング協会（USMA）

University for Foreigners Perugia
Via Scortici 4, Perugia, ITALY
Tel: +39-075-5746
E-mail: secretary@wlc15perugia.com
Skype: valentinawlc15
Website: www.wlc15perugia.com

* 日本語によるお問い合わせはこちらまで：

萩原　康江
公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC）

〒525-0001
滋賀県草津市下物町 1091 番地
Tel: 077-568-4569
E-mail: wlc15@ilec.or.jp
Website: www.ilec.or.jp
Facebook: www.facebook.com/ilec.japanese